

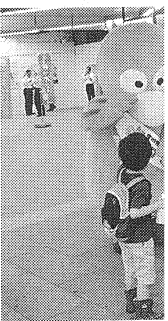


「浄水」と「健康」を兼ね、営業所やサービスステーションが街角イベントを開催する。

とを道して、水道の安全性やおいしさをアピールした。来場者に対し水道水を飲んでみるかどうかなどのアンケート調査も実施した。街頭には県営水道キャラクターの品が贈呈された。



「ラーガーデン」の施設見学対応も行った。



「コバトン」も登場。大人のみならず子どもたちからも注目を集めた。

平山新体制が始動

ダクタイル異形管工業会 遠山前会長に感謝状

日本ダクタイル異形管工業会は5月27日、第55回定時総会・常任理事会を開催し、27年度事業計画案、役員改選等を含む7題を審議、承認し、1件を報告した。

平山新会長は「業界をとりまく環境は決して恵まれたものではないが、本会の発展、ひいては本会を通じた会員各社の発展のため、微力ながら努力していきたい」などと抱負を語った。

遠山前会長はこれまで常任理事17年、会長6年の通算23年間を役員として協会の発展に尽力。これらの功績を称え、平山新会長から感謝状と記念品が贈呈された。

議事は▽26年度会務・事業報告▽26年度収支決算・監査報告▽27年度事業計画▽27年度収支予算▽規約・規約細則の一部改訂▽役員改選―等。27年度は規格の制定・改正への対応、人材育成に関する支援などに取り組む。

同協会の27年3月29日現在の会員数は21社25会員で、26年度定時総会時比で1社1会員減。

施工管理に寄与する。小径管部会では樹脂フラインク鋼管や、シール材関連のJWA規格改正に関する表彰が行われた。

冒頭、狩野久宣会長に代わり野口芳男専務理事があいさつ。「耐震化と長寿命化をキーワードに技術の開発・改良、需要喚起に取り組んできた。29年1月には創立50周年を迎えるが、今後とも会員各社と需要拡大を図っていききたい」などと述べた。総会後には功労賞2名の表彰が行われた。

も勉も研者究処理と金厚入

平山新会長は「業界をとりまく環境は決して恵まれたものではないが、本会の発展、ひいては本会を通じた会員各社の発展のため、微力ながら努力していきたい」などと抱負を語った。

遠山前会長はこれまで常任理事17年、会長6年の通算23年間を役員として協会の発展に尽力。これらの功績を称え、平山新会長から感謝状と記念品が贈呈された。

議事は▽26年度会務・事業報告▽26年度収支決算・監査報告▽27年度事業計画▽27年度収支予算▽規約・規約細則の一部改訂▽役員改選―等。27年度は規格の制定・改正への対応、人材育成に関する支援などに取り組む。

同協会の27年3月29日現在の会員数は21社25会員で、26年度定時総会時比で1社1会員減。

施工管理に寄与する。小径管部会では樹脂フラインク鋼管や、シール材関連のJWA規格改正に関する表彰が行われた。

冒頭、狩野久宣会長に代わり野口芳男専務理事があいさつ。「耐震化と長寿命化をキーワードに技術の開発・改良、需要喚起に取り組んできた。29年1月には創立50周年を迎えるが、今後とも会員各社と需要拡大を図っていききたい」などと述べた。総会後には功労賞2名の表彰が行われた。

日本紫外線水処理技術協会(JUVA、伊藤博文会長)は5月15日、都内で平成27年度定時総会を開催し、26年度事業報告・決算と27年度事業計画・予算、役員選任の3題を審議すべし承認した。

26年度は表流水に対する紫外線装置導入への検討を進め、英文書籍の抄訳に取り組んだ上で、その概要や米国の事例などを会員向けの技術セミナー

も勉も研者究処理と金厚入

普及拡大に注力 WSP総会 規格改正作業も

日本水道鋼管協会(WSP)は5月26日、東京・九段南の日本水道会館で平成27年度定時総会を開き、26年度事業報告・決算、27年度事業計画・予算案などを審議、すべて了承した。

26年度は、JISならびにJWA規格が改定された長寿命形水道用鋼管について技術セミナーや講習会などを充実、普及拡大に努めた。基準類では、撓曲構造対応型の断層用鋼管や、シールドトンネル内配管設計・設計指針、ステンレスフレキ管によるSDF工法計画

施工管理に寄与する。小径管部会では樹脂フラインク鋼管や、シール材関連のJWA規格改正に関する表彰が行われた。

冒頭、狩野久宣会長に代わり野口芳男専務理事があいさつ。「耐震化と長寿命化をキーワードに技術の開発・改良、需要喚起に取り組んできた。29年1月には創立50周年を迎えるが、今後とも会員各社と需要拡大を図っていききたい」などと述べた。総会後には功労賞2名の表彰が行われた。

日本紫外線水処理技術協会(JUVA、伊藤博文会長)は5月15日、都内で平成27年度定時総会を開催し、26年度事業報告・決算と27年度事業計画・予算、役員選任の3題を審議すべし承認した。

26年度は表流水に対する紫外線装置導入への検討を進め、英文書籍の抄訳に取り組んだ上で、その概要や米国の事例などを会員向けの技術セミナー

も勉も研者究処理と金厚入



野口専務

給水機能の早期回復へ

加西市 フジ地中情報 災害協定を締結

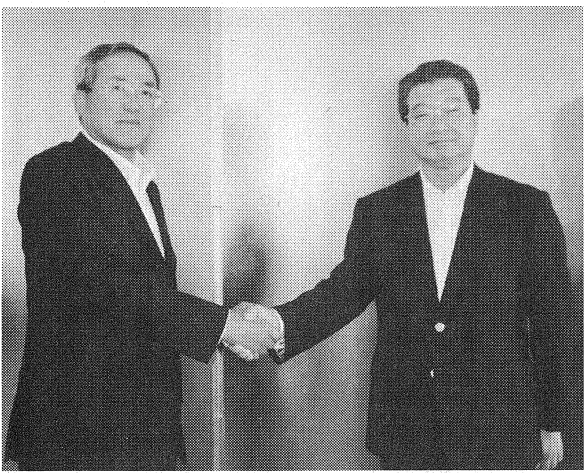
加西市とフジ地中情報 は1日、同市役所で災害時における応援協力をに関する協定を締結式を開き、西村和平日村市長と田村典行フジ地中情報社長が協定書を交わした。

今後、同市の水道施設などに地震や風水害による被害が発生した場合、同社が所有する機材

や人材を提供し、給水機能の早期回復を図る。同市が位置する北播磨地域で、お客さまセンターの委託事業者と同様の協定を締結するのは今回が初めて。

同市は平成18年度から上下水道事業における窓口業務や開閉栓作業、検針業務等を、今年4月から「上下水道お客さまセンター」業務をフジ地中情報に委託しているが、月1回開催している定例会議で、同社から災害応援協定締結の打診があった。

も勉も研者究処理と金厚入



握手する遠山前会長(右)と平山新会長

26年度は、JISならびにJWA規格が改定された長寿命形水道用鋼管について技術セミナーや講習会などを充実、普及

施工管理に寄与する。小径管部会では樹脂フラインク鋼管や、シール材関連のJWA規格改正に関する表彰が行われた。

冒頭、狩野久宣会長に代わり野口芳男専務理事があいさつ。「耐震化と長寿命化をキーワードに技術の開発・改良、需要喚起に取り組んできた。29年1月には創立50周年を迎えるが、今後とも会員各社と需要拡大を図っていききたい」などと述べた。総会後には功労賞2名の表彰が行われた。

日本紫外線水処理技術協会(JUVA、伊藤博文会長)は5月15日、都内で平成27年度定時総会を開催し、26年度事業報告・決算と27年度事業計画・予算、役員選任の3題を審議すべし承認した。

26年度は表流水に対する紫外線装置導入への検討を進め、英文書籍の抄訳に取り組んだ上で、その概要や米国の事例などを会員向けの技術セミナー

縮結式であり、かつ立った西村市長は「巨大地震の発生確率が高まる中、本市も迅速な対応と被害の最小化を図る必要がある。特に市民生活に欠かせない水の安全・安心の確保は重要」と協定

も勉も研者究処理と金厚入



西村市長(左)と田村社長

今後、同市の水道施設などに地震や風水害による被害が発生した場合、同社が所有する機材

や人材を提供し、給水機能の早期回復を図る。同市が位置する北播磨地域で、お客さまセンターの委託事業者と同様の協定を締結するのは今回が初めて。

同市は平成18年度から上下水道事業における窓口業務や開閉栓作業、検針業務等を、今年4月から「上下水道お客さまセンター」業務をフジ地中情報に委託しているが、月1回開催している定例会議で、同社から災害応援協定締結の打診があった。

も勉も研者究処理と金厚入



伊藤会長

も勉も研者究処理と金厚入